

Mayo ClinicのDr.James. S.Newmanと Dr.Anne M.Meehanによるオンライン講義開催



Dr. Anne M. Meehan



Dr. James. S. Newman

本学と協定関係にある
Mayo ClinicのDr.
James. S. Newman
とDr. Anne M.
Meehanによるオンラ
イン講義が令和二年十二

月十日午後十時より国際
交流センター長芦田ルリ
司会のもとで行われ、医
学科の六年生五名、五年
生七名、四年生五名、三
年生三名、一年生一名、
副センター長の武田聡教
授が参加した。

Dr. Newmanは平
成二十八年九月三十日、
第一回慈恵Mayo Cl-
inic シェイント・シン
ポジウムの際に招聘講演
者の一人として来日され
て以来、第二回慈恵-
Mayo Clinic ショイ
ント・シンポジウムや救
急対応シミュレーション
等の学生教育を熱心に行
ってくださっており、今
回のオンライン講義も
Dr. Newmanの多大

なるご尽力によって実現
した。

最初にDr. Newm-
anが、年明治三十九年
に学祖高木兼寛先生が
Mayo Clinicを訪問
された歴史と本学とM-
ayo Clinicとの関係
について話され、次に感
染症の専門家であるD-
r. Meehanが、"Ma-
nagement of CO-
VID-19 patients
hospitalized at M-
ayo Clinic, Roche-
ster、のタイトルで講義
をしてくださった。新型
コロナウイルス感染拡大
の始まりから様々な事実
が確認されていく中での
系統的な新しい治療法
を、研究論文やMayo

Clinicでの対
応を示しながら
説明してくださ
った。

事前にDr.
Newmanか
ら積極的に参加
してほしいと言
われていたこと
もあり、多くの
学生が質問を用
意して活発な質
疑応答となっ
た。今後も定期
的にこのような

オンラインでの講義やデ
ィスカッションを続けて
いくことが確認された。

(国際交流センター
センター長 芦田ルリ)

